

上場会社名 明海グループ株式会社 上場取引所 東
 コード番号 9115 URL <https://www.meiji-group.com/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長CEO (氏名) 内田 貴也
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 (氏名) 水野 敏郎 (TEL) 03-3792-0811
 四半期報告書提出予定日 2023年11月10日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第2四半期の連結業績(2023年4月1日~2023年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第2四半期	32,313	22.7	6,042	134.6	2,406	449.8	1,888	△53.1
2023年3月期第2四半期	26,340	29.6	2,576	98.1	437	△58.6	4,025	549.4

(注) 包括利益 2024年3月期第2四半期 8,135百万円(△50.0%) 2023年3月期第2四半期 16,263百万円(542.1%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第2四半期	55.80	—
2023年3月期第2四半期	119.42	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第2四半期	290,747	75,753	13.6
2023年3月期	274,947	68,433	12.9

(参考) 自己資本 2024年3月期第2四半期 39,542百万円 2023年3月期 35,332百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	—	—	5.00	5.00
2024年3月期	—	—	—	—	—
2024年3月期(予想)	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

現時点では、2024年3月期の期末配当予想額は未定です。

3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日~2024年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	64,100	10.4	9,700	10.7	2,300	△64.3	4,000	△37.9	118.21

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年3月期2Q	36,000,000株	2023年3月期	36,000,000株
② 期末自己株式数	2024年3月期2Q	2,239,201株	2023年3月期	1,992,307株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年3月期2Q	33,838,386株	2023年3月期2Q	33,713,044株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

〈経済環境〉

当第2四半期連結累計期間における世界経済は、新型コロナウイルスによる危機からほぼ回復するも、インフレ率は高止まり、家計の購買力を抑制し、減速傾向となりました。

米国経済は、金融引き締めの中でも個人消費を中心に復調の流れが続き、堅調さを維持しました。欧州経済は、物価高と利上げで内需の伸びが弱く、成長は小幅となりました。中国経済は、ゼロコロナ政策解除後、経済活動の正常化が進みましたが、不動産市場の低迷等から回復スピードは緩やかとなりました。

我が国経済は、経済活動制限の撤廃以降、サービス消費を中心としたペントアップ需要を支えに回復しましたが、物価高騰による実質所得低迷により家計消費が落ち込むなど、勢いに陰りが見られました。

〈外航海運業〉

タンカー備船市況は、原油船についてはウクライナ情勢に起因するトレードパターンの変化による船腹需要の増加の影響が引き続き見られ、市況低迷期の主因であった船余りの環境が改善した一方で、トレードパターンの僅かな変化が、時として船腹量や輸送需要に大きな影響を与える状況となり、高位ながらも不安定な状態で推移しました。石油製品船については、ロシア出し貨物の代替調達によるトンマイルの伸長やコロナ禍明けの荷動きの増加が持続し、現在は季節的要因による下落傾向にはあるものの、比較的好調裡に推移しています。またLPG/LNG船についても、地政学的要因による船腹需要の増加やトレードパターンの変化が引き続き市況に大きな影響を与え、備船マーケットは活況を維持しました。

一方、バルカー備船市況についてはタンカーとは対照的に、大型船型のケープサイズにおいては極度な乱高下は見られなかったものの、中国経済の先行きの不透明さなどから船腹需要は減少、季節的要因も相まって期初以降下落傾向が継続しています。中/小型船型のパナマックス、ハンディマックスおよびハンディサイズにおいても、パナマ運河の通峡規制などの船腹量引き締め要因が大西洋域にて生じた一方で、太平洋域においては中国向けのインドネシア炭需要の減少などを負の要因として海域ごとに船腹需給に格差を生じ、総じて低調な推移となりましたが、穀物収穫期を迎える北米、南米においては豊作による出荷量の増加とそれに伴う滞船の増加により、秋口となって反転上昇の兆しが見られます。

自動車船備船市況は、2020年の荷動き減退時のスクラップ促進などによる船腹量絞り込みの影響が未だ強く、コロナ禍からの回復に伴う自動車生産量と荷動きの増加に伴う旺盛な船腹需要をカバーしきれない状況が継続し、歴史的な高水準で推移しています。

コンテナ船市況は、コロナ禍に起因する歴史的な好市況から昨年11月頃よりコロナ前の水準まで下落していましたが、その後横ばいの状態で推移しています。

このような状況のもと、当社グループの外航海運業部門は、売却による船舶の稼働減もありましたが、前連結会計年度に竣工した船舶の稼働増に加え、タンカー1隻の新規稼働のほか、円安進行の影響もあり、売上高は28,385百万円（前年同四半期比19.4%増）となり、外航海運業利益は、入渠費など海運業費用の減少もあり、5,998百万円（前年同四半期比90.0%増）となりました。また、特別利益として、当社の連結子会社が所有する船舶1隻の船舶売却益1,317百万円を計上しています。

〈ホテル関連事業〉

ホテル関連事業部門では、コロナ禍の状況から回復基調に転じ、ホテル関連事業部門の売上高は3,655百万円（前年同四半期比58.8%増）となり、ホテル関連事業損失は100百万円（前年同四半期はホテル関連事業損失720百万円）となりました。

〈不動産賃貸業〉

不動産賃貸業部門は、売上高は272百万円（前年同四半期比4.6%増）、不動産賃貸業利益は143百万円（前年同四半期比3.1%増）となりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は、32,313百万円（前年同四半期比22.7%増）、営業利益は、前述の海運業費用の減少およびホテル関連事業損失の減少もあり、6,042百万円（前年同四半期比134.6%増）となりました。経常利益は、支払利息2,141百万円、為替差損1,642百万円の計上がありましたが、営業利益の増額もあり、2,406百万円（前年同四半期比449.8%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は、特別利益として前期は3隻分の船舶売却益を計上した一方、当期は1隻分となったことから、1,888百万円（前年同四半期比53.1%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債および純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末における資産の部は、前連結会計年度末より15,800百万円増加し、290,747百万円となりました。これは主に現金及び預金の増加、在外子会社の為替換算および新造船竣工に伴う船舶の増加によるものです。

負債の部は、前連結会計年度末より8,480百万円増加し、214,993百万円となりました。これは主に船舶取得に伴う借入金の増加によるものです。

また、純資産の部は、前連結会計年度末より7,319百万円増加し、75,753百万円となりました。これは主に非支配株主持分、為替換算調整勘定、利益剰余金の増加によるものです。

②キャッシュ・フローの状況

キャッシュ・フローにおいては、当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末と比べて7,304百万円増加し、34,275百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況は以下のとおりです。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における営業活動によって得られた資金は、13,710百万円(前年同四半期比23.6%増)となりました。これは主に税金等調整前四半期純利益3,723百万円に、減価償却費8,856百万円を加算し、その他非資金項目を加減算した結果です。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間において投資活動に使用した資金は、3,006百万円(前年同四半期は238百万円の収入)となりました。これは主に船舶建造資金等の有形固定資産の取得による支出4,738百万円、船舶等の有形固定資産の売却による収入2,461百万円によるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間において財務活動に使用した資金は、4,350百万円(前年同四半期は2,636百万円の支出)となりました。これは主に、長期借入れによる収入6,447百万円と、長期借入金の返済による支出10,885百万円との差額4,437百万円によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年5月12日の「2023年3月期決算短信」において公表した2024年3月期の通期連結業績予想について、最近の業績の動向を踏まえて修正をしました。詳細につきましては、本日2023年10月27日公表の「第2四半期連結累計期間業績予想と実績値との差異並びに通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

上記の予想は、本資料の発表時現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって大きく異なる場合があります。今後業績予想等の修正が必要となった場合は速やかに公表いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	27,572,231	34,908,898
売掛金	706,560	694,857
商品及び製品	23,341	26,832
原材料及び貯蔵品	1,135,464	1,205,543
その他	4,624,826	5,235,179
流動資産合計	34,062,424	42,071,311
固定資産		
有形固定資産		
船舶（純額）	183,586,204	189,163,606
建物及び構築物（純額）	11,625,588	11,349,350
土地	9,679,620	9,690,780
建設仮勘定	14,526,040	14,459,948
その他（純額）	350,916	356,642
有形固定資産合計	219,768,369	225,020,327
無形固定資産		
その他	84,034	91,914
無形固定資産合計	84,034	91,914
投資その他の資産		
投資有価証券	11,472,623	13,613,568
長期貸付金	1,290,401	1,423,036
繰延税金資産	991,685	1,058,007
その他	7,277,558	7,469,108
投資その他の資産合計	21,032,268	23,563,721
固定資産合計	240,884,672	248,675,963
資産合計	274,947,097	290,747,274

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
負債の部		
流動負債		
海運業未払金	2,708,906	2,974,769
1年内償還予定の社債	240,000	182,000
短期借入金	34,762,821	40,308,299
未払金	841,010	1,258,524
未払法人税等	395,354	498,875
賞与引当金	67,566	193,080
その他	8,713,877	7,773,285
流動負債合計	47,729,536	53,188,834
固定負債		
社債	178,000	80,000
長期借入金	146,006,946	146,256,316
繰延税金負債	2,950,131	2,619,098
再評価に係る繰延税金負債	1,083,122	1,083,122
引当金		
役員退職慰労引当金	205,531	141,817
特別修繕引当金	2,835,203	3,420,280
引当金計	3,040,735	3,562,097
退職給付に係る負債	367,392	377,574
持分法適用に伴う負債	207,870	197,777
その他	4,949,570	7,629,040
固定負債合計	158,783,768	161,805,027
負債合計	206,513,305	214,993,861
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,800,000	1,800,000
資本剰余金	733,608	733,608
利益剰余金	24,472,827	26,181,035
自己株式	△420,655	△559,112
株主資本合計	26,585,779	28,155,530
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	656,702	1,122,018
繰延ヘッジ損益	2,598,797	2,791,590
土地再評価差額金	1,891,582	1,891,582
為替換算調整勘定	3,599,761	5,581,778
その他の包括利益累計額合計	8,746,844	11,386,971
非支配株主持分	33,101,168	36,210,911
純資産合計	68,433,792	75,753,412
負債純資産合計	274,947,097	290,747,274

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2023年4月1日 至2023年9月30日)
売上高	26,340,750	32,313,457
売上原価	21,621,990	23,874,207
売上総利益	4,718,760	8,439,249
販売費及び一般管理費	2,142,721	2,396,937
営業利益	2,576,038	6,042,312
営業外収益		
受取利息	40,101	267,630
受取配当金	82,343	86,252
持分法による投資利益	787,082	358,289
その他	676,309	355,257
営業外収益合計	1,585,836	1,067,429
営業外費用		
支払利息	1,134,384	2,141,862
為替差損	1,298,795	1,642,896
デリバティブ評価損	1,153,811	710,051
その他	137,161	208,480
営業外費用合計	3,724,154	4,703,291
経常利益	437,719	2,406,450
特別利益		
船舶売却益	7,484,604	1,317,328
特別利益合計	7,484,604	1,317,328
特別損失		
有形固定資産除却損	30,718	—
特別損失合計	30,718	—
税金等調整前四半期純利益	7,891,606	3,723,778
法人税、住民税及び事業税	571,382	496,290
法人税等調整額	△83,778	△643,009
法人税等合計	487,603	△146,718
四半期純利益	7,404,002	3,870,497
非支配株主に帰属する四半期純利益	3,378,145	1,982,349
親会社株主に帰属する四半期純利益	4,025,857	1,888,148

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
四半期純利益	7,404,002	3,870,497
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	122,482	468,067
繰延ヘッジ損益	3,854,406	164,614
土地再評価差額金	△40,036	—
為替換算調整勘定	3,802,132	2,890,454
持分法適用会社に対する持分相当額	1,120,115	741,464
その他の包括利益合計	8,859,100	4,264,600
四半期包括利益	16,263,103	8,135,098
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	8,809,956	4,528,275
非支配株主に係る四半期包括利益	7,453,147	3,606,823

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	7,891,606	3,723,778
減価償却費	8,335,921	8,856,076
受取利息及び受取配当金	△122,444	△353,882
有形固定資産除売却損益 (△は益)	△7,453,886	△1,317,328
支払利息	1,134,384	2,141,862
為替差損益 (△は益)	1,337,273	1,691,409
デリバティブ評価損益 (△は益)	1,153,811	710,051
持分法による投資損益 (△は益)	△787,082	△358,289
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	—	△63,714
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△17,774	10,182
特別修繕引当金の増減額 (△は減少)	365,426	693,159
前受金の増減額 (△は減少)	53,289	△212,853
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△75,039	△73,570
未収消費税等の増減額 (△は増加)	67,857	△61,126
海運業未払金の増減額 (△は減少)	983,576	265,862
その他の流動資産の増減額 (△は増加)	△1,123,050	△640,019
その他	797,431	699,158
小計	12,541,301	15,710,757
利息及び配当金の受取額	341,410	472,853
利息の支払額	△1,134,115	△2,102,150
法人税等の支払額	△659,372	△370,504
営業活動によるキャッシュ・フロー	11,089,223	13,710,955
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△9,847,871	△4,738,179
有形固定資産の売却による収入	10,816,565	2,461,176
定期預金の預入による支出	△611,264	△632,974
定期預金の払戻による収入	525,026	601,046
投資有価証券の取得による支出	△843,534	△671,245
貸付けによる支出	—	△120,349
貸付金の回収による収入	282,652	85,101
その他	△82,616	8,800
投資活動によるキャッシュ・フロー	238,957	△3,006,622

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	596,614	622,905
長期借入れによる収入	11,629,496	6,447,318
長期借入金の返済による支出	△13,839,693	△10,885,286
社債の償還による支出	△292,000	△156,000
配当金の支払額	△179,745	△177,621
非支配株主への配当金の支払額	△5,080	△5,080
自己株式の取得による支出	△40	—
リース債務の返済による支出	△1,044	—
その他	△545,264	△196,557
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,636,756	△4,350,322
現金及び現金同等物に係る換算差額	3,283,699	950,728
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	11,975,123	7,304,739
現金及び現金同等物の期首残高	23,137,279	26,971,185
現金及び現金同等物の四半期末残高	35,112,402	34,275,924

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

第1四半期連結会計期間において、持分法適用関連会社1社は自己株式(当社株式)176千株(当社帰属分)を取得しました。当第2四半期連結会計期間において、持分法適用関連会社1社は自己株式(当社株式)70千株(当社帰属分)を取得しました。この結果、当第2四半期連結累計期間において、自己株式は138,457千円増加しました。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額	合計
	外航海運業	ホテル関連事業	不動産賃貸業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	23,778,752	2,301,153	260,844	26,340,750	—	26,340,750
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	23,778,752	2,301,153	260,844	26,340,750	—	26,340,750
セグメント利益又はセグメント損失(△)	3,156,602	△720,193	139,630	2,576,038	—	2,576,038

(注) セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しています。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

該当事項はありません。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額	合計
	外航海運業	ホテル関連事業	不動産賃貸業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	28,385,438	3,655,104	272,915	32,313,457	—	32,313,457
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	28,385,438	3,655,104	272,915	32,313,457	—	32,313,457
セグメント利益又はセグメント損失(△)	5,998,589	△100,183	143,905	6,042,312	—	6,042,312

(注) セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しています。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

該当事項はありません。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。